

# 内部監査による不正対策への取組み

～チェック機能だけではない内部監査に期待される企業不正への対応実務

「内部監査実務マスター・コース」〔第4回開催分(全9回)〕

- 日 時 ● 2019年12月5日(木) 14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・四ツ谷 『主婦会館プラザエフ』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士(現在 inactive)

会計監査を約20年続ける中、アンダーセンでは監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動(国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他)にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査に特化し、アンダーセン消滅後は朝日監査法人代表社員を辞してPwC(中央青山監査法人)に移り代表社員も務め、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人(B&Y)で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS(不正対策・係争サポート)部長等を歴任。2012年、シニアパートナーを早期退任し、ボルボ・グループで日本の内部監査統括を務め、同グループ会社UDトラックス(株)の監査役を今年まで続け、現在、藤井範彰公認会計士事務所として内部監査や不正対応・ガバナンス関連の講演や研修及び執筆活動に従事。

【最近の著書】「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」同文館出版2016年で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法20」2012年税務経理協会、論文「内部監査のアシユアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

## ●プログラム●

### ■講義/内部監査による不正対策への取組み<14:00-16:30>

企業の不正事件が相次いで報道され内部監査や内部統制の強化に関心が集まる一方で、事故が起こってない中で直接利益を生まない不正対応にそれほど手間をかける余裕はないと考える企業も少なくないようです。しかし起こってからの事後対応では不正防止に比べて格段に高くつくという統計データも出ています。

他方、日本では不正は法令違反の問題として内部監査による法令順守の徹底という図式で内部監査のチェック機能が期待されますが、企業不正には様々な側面があるし、内部監査の関わり方についてもそれほど単純ではないのです。また特に会計不正では会計士ばかりがやり玉にあがる傾向もあります。

そういう状況下で、日本の不正のパターンおよび監査や内部統制の制度を踏まえて、企業不正に対して内部監査は何ができるか、今後どのような対応を検討すべきか、これが今回の課題です。

#### 1. 日本における不正パターンの類型と最近の企業風土型不正の特徴

#### 2. 会計士が会計不正で批判される背景と

#### 会計監査や内部統制報告制度(J-SOX)の限界

- ・監査のリスクアプローチと制度設計をめぐる問題とその背景にある監査風土の弱さ

#### 3. 内部監査による不正対応活動への関わりと実務のポイント

- ・不正リスク評価、不正監査、不正調査、通報対応、内部統制のレビュー

### ■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント<16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

## ●参加要領●

### ●受講料：1名(資料代含む)

正会員	32,400円	一般	35,640円
-----	---------	----	---------

[本体価格 30,000円 本体価格 33,000円]

\*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。<http://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者ご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

### ●申込先(一社)企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 080-2102-1604/FAX 03-5215-0951

190188	2019 12/5 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			